

# 香港株式市場フラッシュ

## 適度に緩和的な金融政策～第2次トランプ米政権へ備え

リサーチ部 笹木和弘

Tel: 03-3666-6980

E-mail: kazuhiko.sasaki@phillip.co.jp

フィリップ証券株式会社

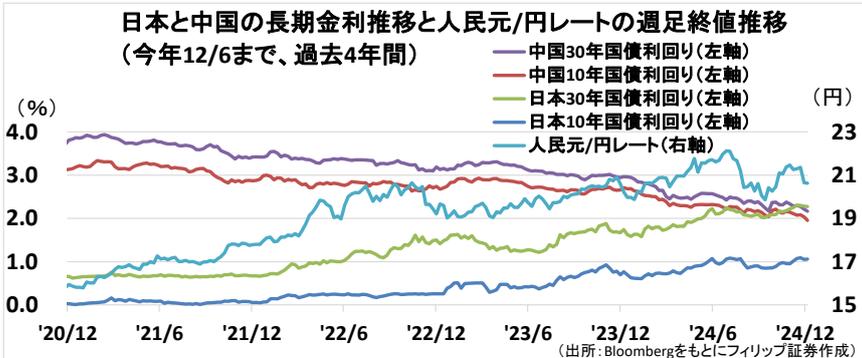
2024年12月11日号(12月11日作成)

### ”米国との第2次貿易戦争に備える財政・金融政策“

12/9開催の中国共産党中央政治局会議は、約14年ぶりに「適度に緩和的な金融政策」への転換を打ち出した。同時に、従来型からの脱却を示す「超常規」景気対策という言葉が初めて使われた。市場では、中国人民銀行が来年、中央政府の債務を、バランスシート上で買い入れるような非伝統的な金融政策を採用する期待が浮上している。中央政治局会議は中国共産党を指導し、政策を議論・決定する機関。中国で党が政府を指導する立場に位置付けられ、習近平国家主席ら最高指導部の「トップ7」に当たる政治局常務委員を含め、25人の政治局員で構成する。

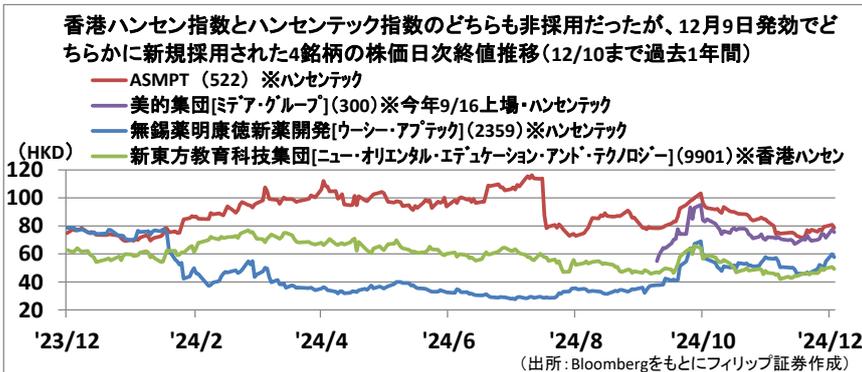
そのような中で、来年の政策を策定する年次の経済である「中央経済工作会議」が12/11から2日間の開催予定だ。中央経済工作会議は、中国共産党と政府が年に1度(12月が多い)開催され、総書記・国家主席や党最高指導部に加え、閣僚、地方政府や大手国有企業、軍の幹部らが参加し、経済成長率や物価など経済運営の目標を議論する。具体的な目標値は翌年3月の全国人民代表大会(全人代)の政府活動報告で公表するとされる。

米トランプ次期政権の発足を来月に控え、米国との第2次貿易戦争に備える構えと考えられる。特に債券市場では買い意欲が強まり、長期金利が低下。30年国債利回りは既に日本を下回っている。今後幅広い年限の長期金利が日中で逆転すると見込まれ、為替の円高・人民元安要因となりそうだ。



### ”香港ハンセン指数とハンセンテック指数の銘柄入れ替え“

12/9発効で香港ハンセン指数およびハンセンテック指数の入れ替えが行われた。ハンセン指数が2銘柄追加、1銘柄除外。ハンセンテック指数が3銘柄追加、3銘柄除外となった。ハンセン指数の追加銘柄のうち1銘柄はハンセンテック指数採用の**快手科技(1024 香港)**なので、今まで両指数のどちらも非採用から新たにどちらから採用されたのは4銘柄。うち、ハンセン指数新規採用は教育サービスの**新東方教育科技集団(9901 香港)**。ハンセンテック指数は9/16に香港上場した家電メーカーの**美的集団(300 香港)**、医薬品メーカーの**無錫藥明康德新薬開発[ウーシー・アプテック](2359 香港)**、オランダASMインターナショナル傘下、半導体製造装置後工程で世界最大手の**ASMP(522 香港)**の3銘柄だ。米中摩擦で規制強化の対象となりやすい半導体と医薬品・バイオの両分野が含まれている点は注目される。



### ハンセン指数またはハンセンテック指数構成銘柄 (全96銘柄)における終値の昨年末来騰落率

前回基準日: 20241126 基準日: 20241210

順位	2023年末来騰落率・上位10銘柄	(%)	前回順位
1	Meituan (美团)	109.8	1
2	携程旅行網 [トリップドットコムグループ]	103.4	3
3	中国宏橋集団 [チャイナ・ホンチョウ・グループ]	103.3	2
4	小米集団 [シャオミ]	98.4	4
5	吉利汽車控股 [ジーリー・オートモービル・HDS]	86.9	5
6	ピリビリ	75.1	6
7	中国人寿保険 [チャイナ・ライフ・インシュアランス]	64.0	7
8	招商銀行	50.1	13
9	中国海洋石油 [CNOOC]	46.5	8
10	中国聯通 [チャイナ・ユニコム]	46.0	9

順位	2023年末来騰落率・下位10銘柄	(%)	前回順位
96	蔚来汽車 [ニオ]	-48.4	96
95	Budweiser Brewing Co APAC Lt	-46.3	94
94	East Buy Holding Ltd	-44.2	93
93	理想汽車	-38.8	92
92	藥明生物技術 [ウーシー・バイオロジクス・ケイマン]	-38.3	95
91	周大福珠寶集團 [チャウタイフックジュエリーグループ]	-27.1	90
90	恒隆地産 [ハンロン・プロパティーズ]	-26.9	89
89	ZhongAn Online P&C Insurance	-26.3	88
88	石薬集団 (CPSC Pharmaceutical Group)	-25.0	83
87	百度 [バイドゥ]	-24.5	86

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

### 【2024年12月: 中国主要経済指標】

- 11月30日(土)
  - ・11月製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回50.1、**結果50.3**
  - ・11月非製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回50.2、**結果50.0**
- 12月2日(月)
  - ・11月(財新)製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回50.3、**結果51.5**
- 12月4日(水)
  - ・11月(財新)サービス部門PMI: 前回52.0、**結果51.5**
- 12月7日(土)
  - ・11月外貨準備高: 前回3.26兆USD、**結果3.26兆USD**
- 12月9日(月)
  - ・11月消費者物価指数(CPI) <前年同月比>: 前回+0.3%、**結果+0.2%**
  - ・11月生産者物価指数(PPI) <前年同月比>: 前回▲2.9%、**結果▲2.5%**
- 12月10日(火)
  - ・11月貿易収支: 前回+957億USD、**結果+974億USD**
  - ・11月輸出<前年同月比>: 前回+12.7%、**結果+6.7%**
  - ・11月輸入<前年同月比>: 前回▲2.3%、**結果▲2.5%**
- 12月10日(火)・15(日)
  - ・11月資金調達総額: 前回27.06兆元
  - ・11月新規人民元建て融資: 前回16.52兆元
  - ・11月マネーサプライM2<前年同月比>: 前回+7.5%
- 12月16日(月)
  - ・11月小売売上高<前年同月比>: 前回+4.8%
  - ・11月鉱工業生産<前年同月比>: 前回+5.3%
  - ・1-11月不動産投資<前年同月比>: 前回▲10.3%
  - ・1-11月固定資産投資<前年同月比>: 前回+3.4%
  - ・11月新築住宅価格<前年同月比>: 前回▲0.51%
  - ・11月住宅販売面積<前年同月比>: 前回▲22.0%
  - ・11月調査失業率<前年同月比>: 前回5.0%
- 12月16日(月)・25日(水)
  - ・1年中期貸出ファシリティ金利: 前回2.0%
- 12月20日(金)
  - ・1年ローン・プライムレート: 前回3.10%
  - ・5年ローン・プライムレート: 前回3.60%
- 12月27日(土)
  - ・1-11月工業利益<前年同月比>: 前回▲4.3%

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号  
TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会認定アナリスト、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考としてレポートの作成者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害について、フィリップ証券も、当レポートの作成者も、責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載することを禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく表示>

・フィリップ証券または本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。